

令和7年度第2回ユニバーサルなスポーツ施設検討会

次 第

日時 令和7年10月15日（水）10時00分～11時30分
場所 兵庫県庁2号館5階会議室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 議 事
 - (1) 県内スポーツ施設との連携方策について
 - (2) 県内スポーツ施設のUD化に向けた情報提供について
- 5 その他
- 6 閉会

＜配付資料一覧＞

- 資料1 県内スポーツ施設との連携方策及びUD化に向けた情報提供等
資料2 ユニバーサルなスポーツ施設検討会設置要綱等

令和7年度第2回ユニバーサルなスポーツ施設検討会 出席者名簿

日時 令和7年10月15日（水）10時00分～11時30分
場所 兵庫県庁2号館5階会議室

<委員>

区分	氏名	役職等	備考
有識者	青山 将己	流通科学大学人間社会学部准教授	
	柳 尚吾	関西学院大学建築学部准教授	
障害者スポーツ振興団体	増田 和茂	県障害者スポーツ協会理事長	
障害者団体	木村 佳史	県身体障害者福祉協会理事長	
	柴崎 博彦	県知的障害者施設協会スポーツ委員長	
	新銀 輝子	県精神福祉家族会連合会会長	
パラアスリート	大矢 勇気	車いす陸上選手 県ユニバーサルスポーツ大使	
	笠本 明里	パラ水泳選手	
	久保 秀男	車いすバスケットボール選手	
施設関係者	奥山 隆彦	株式会社ウェルネスサプライ しあわせの村温泉健康センター総支配人	代理 松下 恵美子副総支配人

(各区分での五十音順。敬称略)

<事務局>

役職	氏名
兵庫県福祉部次長	野田 誠一
兵庫県福祉部ユニバーサル推進課長	岩切 玄太郎
兵庫県福祉部ユニバーサル推進課班長	西田 勇
兵庫県福祉部ユニバーサル推進課主幹	越智 明日香

1 本年度の検討会スケジュール

実施時期	検討内容
第1回 7月30日	① 県内施設との連携方策（圏域拠点の考え方） ② 県内施設のUD化に向けた情報提供（先進施設抽出）
第2回 10月15日	① 県内施設との連携方策（県内施設への支援方策等） ② 県内施設のUD化に向けた情報提供（先進施設紹介）
第3回 11～12月	とりまとめ

昨年度に検討した県内スポーツ施設への支援方策の方向性を踏まえ、支援方策の具体化や効果的な実施手法等について検討。

① 県内施設との連携方策

施設所在地域や実施競技等を勘案した圏域拠点としての位置付け等、県内施設の連携による効果的な運用方策を検討

② 県内施設のUD化に向けた情報提供

県内スポーツ施設の利便性向上に向けたUD（ユニバーサルデザイン）先進施設事例の提示 等

2 前回検討会の主な意見

(1/2)

① 県内施設との連携方策 (1/2)

○ 県内施設への支援策【ハード面】

○ ジェンダーレストイレ

- ・ スポーツ施設内にジェンダーレストイレを実験的・モデル的に設置するのもよいのでは。
- ・ ただし、ジェンダーレスとして青色・赤色の男女区別の標示がなくなり同じ色になるため、視覚障害の方も知的障害の方も識別しづらく、知的障害の方の場合、パニックになる可能性がある。色による区別標示は残してもらいたい。

○ バリアフリー化・UD化の推進にあたっての注意点

バリアフリー化やUD化は耳障りはよいが、障害者に特化したトイレ・駐車場を、一般用でも問題ない者も使ってしまうため、障害者にとって支障が出る。障害者専用のように障害者を特別に配慮する箇所も残しておく必要がある。

○ 民間スポーツ施設への支援策

パラスポーツへの理解を示す民間スポーツ施設管理者も徐々に増えている。施設改修等の工夫をして障害のある方が使えるようにすればよい。トイレ・スロープ整備に県が助成することで障害のある方がより使いやすくなるのでは。

○ 床材タラフレックス

- ・ 床材のタラフレックス（弾性スポーツシート）の採用の可否についてはパフォーマンス面と安全面とのせめぎ合い。床が柔らかいと転倒しても安全だが、スピードが落ちてパフォーマンス力が低下する。
- ・ 耐久性については利用方法により異なるが、一事業者視点だと木材の方が圧倒的に耐久性がある。
- ・ 競技スポーツ向きではなく、ご高齢の方や重度障害者のレクリエーション用としては最適。
- ・ スポーツ施設では休憩場所が大切。利用者目線での検討、設計段階で障害者や高齢者も一緒に検討することが大事。

○ 県内施設への支援策【ソフト面】

○ 施設職員向けの支援策

- ・ 障害に理解のある職員がいれば様々な障害者に対応でき、障害を持つ方は安心できるので、施設を利用したくなる。
- ・ 各施設に障害に理解のある職員を数人は配置できるよう、県からの助成や研修会開催が必要では。
- ・ 研修会参加者の確保については、指導者研修会等の既存の仕組みの中での実施が周知しやすい。
- ・ 障害者スポーツ指導者資格を持つ職員を配置する施設への配置加算等が効果的では。
- ・ 心のバリアフリー化等については、子どもの頃からの教育が大切。
- ・ 大学生などの若い人材を活用してもらいたい。

2 前回検討会の主な意見

(2/2)

① 県内施設との連携方策 (2/2)

○ 県内施設への支援策

【その他】

- ・ ハード面、ソフト面いずれかではなく両面でのUD化が必要。
- ・ 各施設の特徴を踏まえた情報（どのスポーツ種目の利用向き等）のホームページ等を用いた広い提供が、施設のバランスよい分散利用のために必要。

○ 拠点の位置付け

- ・ 競技種目（カヌー、スキー等）利用に注力する施設で、拠点位置付けにふさわしい施設もあるが、圏域中核拠点、市町拠点いずれの定義にも当てはまらない。将来的には、全県、圏域、市町の枠組みに納めず、幅を広げた別の言葉を用いた方が分かりやすいのでは。
- ・ トイレ、シャワー、更衣室、駐車場等を項目として整理して各整備があることを点数化し、何ポイント以上あればゴールドラベルの施設、何ポイントから何ポイントならシルバーランクの施設というように、ランクづけの名前をサブタイトルとしてつける意見を提案する。
- ・ 昨年度のアンケートで「拠点に关心あり」と回答しなかった施設でも、パラスポーツに活用できる施設が他にもあるのでは。

② 県内施設のUD化に向けた情報提供（先進施設紹介）

- ・ 360度カメラを用いた写真を用いたバーチャル案内は、障害を持つ者全てにとって事前に施設のイメージが湧いてから行けるので非常に安心。
- ・ 文字だけよりも写真の方が理解しやすいのでよい。
- ・ データ掲載箇所について、施設にある程度関心を持つ人でないと各施設のサイトにアクセスしない。施設自体をあまり知らない人、潜在的な利用者を考えると、県のホームページで各施設の設備一覧を掲載して見える化するのが理想。さらに、各施設のサイトへのリンクを貼り、リンク先で詳細を確認できるとなお理想的。
- ・ 県立ふれあいスポーツ交流館は障害者優先施設であるので、UD化先進施設としてもっと広く情報提供するとよい。

3 県内施設との連携方策（県内施設への支援方策等）

- 各委員からの意見等に基づき、県内スポーツ施設の課題を解決するためハード面・ソフト面の両面で支援

支援方策の方向性（事務局案）

（1）ハード面での支援

- 民間スポーツ施設のUD化支援（R8～10年度実施予定）

バリアフリー改修を行う民間スポーツ施設に対して改修費を補助（補助率1/2）

補助対象者：バリアフリー改修を行う民間スポーツ施設

補助対象経費：① バリアフリー改修に要する経費

改修対象：トイレ、スロープ設置、点字表示 等

② 改修後の施設バーチャル案内データ作成費

※ 公共施設に比べてバリアフリー化が遅れている民間スポーツ施設について、障害者が利用しやすい環境を整備し、障害者の民間スポーツ施設利用を促進。

スポーツ意欲を持つ障害者が利用しやすい施設の選択肢を増やし、県内施設の利用分散化を図る。

民間スポーツ施設：民間業者が所有・運営する県内所在スポーツ施設を対象とする

ソフト面での支援もあわせて実施（介助者利用料支援、障害者サポート職員配置支援）

※ 詳細は次ページ参照

3 県内施設との連携方策（県内施設への支援方策等）

支援方策の方向性（事務局案）

（2）ソフト面での支援

① 民間スポーツ施設における介助者利用料支援（R8～10年度実施予定）

障害者が民間スポーツ施設を利用する際に、同伴する介助者の利用料金を補助

補助対象者：障害者及び介助者が利用する民間スポーツ施設

補助対象経費：障害者に同伴する介助者の民間スポーツ施設利用料（障害者1名につき介助者1名）
※各施設での受付にて障害者手帳と介助状況の確認

※ 一部の民間スポーツ施設では、障害者に同伴する介助者についても利用料が必要となるなど、障害者の金銭的負担も大きい。この金銭的負担を解消することで、障害者の民間スポーツ施設利用を促進。

② 民間スポーツ施設における障害者サポート職員配置支援（R8～10年度実施予定）

民間スポーツ施設が障害者対応職員を配置する際の人事費を補助（補助率1/2）

補助対象者：民間スポーツ施設

補助対象経費：障害者対応窓口等に従事する施設職員の人事費

※ 一部の民間スポーツ施設では、施設職員数不足により障害者への対応が不十分。職員配置支援を通じて、障害者が安心して利用できる環境をソフト面で整備し、民間スポーツ施設利用を促進。

※ あわせてR7年度から県内スポーツ施設職員を対象とした障害者対応研修（座学・実技）を実施し、職員の障害者対応力向上を図る（R7年度：R8年1月実施予定）

③ 県内スポーツ施設UD状況見える化支援（R8～10年度実施予定）

県内スポーツ施設のUD状況がわかるバーチャル案内データを整備

対象施設：バリアフリー改修済又は障害者が利用しやすい工夫を図る県内スポーツ施設

※ 施設利用前のUD状況の確認を可能にすることで、施設の新規利用の拡大を図る（県HPで発信）

4 県内施設のUD化に向けた情報提供

- 昨年度実施のアンケート調査結果において、利用者から障害者利用においてハード面の整備が不十分との意見が多かったことを踏まえ、先進的なパラスポーツ施設の具体事例をモデルとして市町・民間スポーツ施設等に示し、県内スポーツ施設のUD化（ユニバーサルデザイン化）へのインセンティブを図る。

また、UD化が進んでいる先進的なパラスポーツ施設の情報を広く発信することで、施設の新規利用者の拡大を図る。

※ R7年度から実施。R8年度以降、施設情報を充実予定

- 情報発信方法

県ホームページ、県障害者スポーツ協会ホームページへの掲載

※ 各施設を認知していない者へのリーチも狙い、多くのアクセス数が見込める上記ホームページを利用

県内スポーツ施設のUD化状況

県立障害者スポーツ交流館
 所在地 兵庫県神戸市西区曙町1070
 お問合せ 078-927-2727
 営業時間 9~21時
 休館日 毎週月曜
 施設案内サイト <https://hwc.or.jp/kouryukan/>
 UD化状況はこちら↓

入口
受付
アリーナ
トレーニング室
トイレ
更衣室

ふれあいスポーツ交流館
 所在地 兵庫県たつの市新宮町光都1-7-1
 お問合せ 0791-58-1313
 営業時間 9~21時
 休館日 毎週火曜
 施設案内サイト https://www.hwc.or.jp/nishiharima/sports_exchange/
 UD化状況はこちら↓

入口
受付
アリーナ
プール
トレーニング室
トイレ
更衣室

☞ ホームページ掲載内容イメージ

(サンプルデータは別途提示)